ともしび通信

Vol. 64

2026年1月号

毎日が敬老の日　毎日がこどもの日

社会福祉法人ともしび福祉会

迎春会！
～高槻ともしび苑～

1月21日、高槻ともしび苑で迎春会を開催しました。
新しい年が皆さまにとって幸多きものとなりますよう、心からお祈りいたします。
また、職員一同更なるサービスの向上に日々努めて参ります。

～施設長より新年のご挨拶～
入居者様の安心と豊かな暮らしを想い、
引き続き尽力して参ります。

力強い獅子舞が皆さまの元へ！
少し緊張されていましたが、皆さましっかりと頭を噛んでもらい、邪気や病気などの災難を遠ざけました！

「噛みつく」という言葉は「神付く」につながり、獅子が頭に噛みつくと、その人には神様が付くとも考えられています！
お正月に獅子に噛みついてもらって神が付くと、その方は神様に守られ1年間平穏無事に過ごせるそうですよ♪

2026年の年男、年女の合計は全国で940万人だそうです！
高槻ともしび苑では、男性1名、女性6名の計7名の入居者様が該当し、ご紹介させていただきました。
また、開催日の1月21日にお誕生日だった方がおられ、入居者様と職員でバースデーソングを歌ってお祝いしました！
これまで歩まれてきた素晴らしい人生に敬意を表し、これからも健やかで穏やかな日々が続きますようお祈りいたします。

職員インタビューコーナー

高槻ともしび苑　居宅介護支援事業所管理者
神野　ゆきさん

福祉の世界に入ったきっかけ

私が大学生だった頃、遠方で一人暮らしをしていた父方の祖母が体調が崩し、長男である父が暮らす我が家に祖母を招き同居生活がはじまりました。長く暮らした土地を離れ、大阪での暮らしになかなか馴染めなかった祖母は、今思えば環境の変化からうつ状態になり、認知症状が出ていたと思います。
祖母との別れは突然でした。私が作った夕飯を食べて、「ゆきちゃんの作ったハンバーグ美味しかった」と言ってくれた翌朝、亡くなっていました。
当時は祖母と向き合えていなかったのですが、この経験を機に特別養護老人ホームでアルバイトをはじめ、ヘルパーとして働きながらホームヘルパー２級を取得し、「この仕事をやっていこう」と思うようになりました。

介護職員からケアマネジャーへ

第一子の妊娠を機に、引き続き介護職員として働き続けることに難しさを感じ、前職に区切りを付けました。
そのタイミングで今後の働き方やキャリアを考えるようになり、ケアマネジャーの資格取得に向けて勉強をはじめ、無事資格を取得することができました。
平成１８年に、高槻ともしび苑の採用面接を受け、その場で採用のお話をいただき、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとして新たなスタートを切りました。
勤続２０年目を迎えますが、経験を重ねても利用者様との信頼関係や距離感にお互いの想いに違いが生じてしまうことが何回かありました。
対人援助職ならではの難しさで、学びの日々です。

やりたいこと

地域貢献や、高槻市内の事業所と積極的に交流して繋がりを広げたり、強化できればいいなと思っています。
また、もっと高槻ともしび苑を知ってもらう為にＳＮＳを使った発信にも関心があります。
目に触れる機会を増やし、色んなご縁に繋がると嬉しいです。

大切にしていること

ケアマネジャーとして支援するにあたり、「利用者さん本位」をベースに、ご本人を見て支援することです。
「要介護１の男性」という情報から「これくらいの方なら週に２回のデイサービスの利用が妥当」とするのではなく、この方がどうしていきたいのか、本当に必要なことは何なのかを考える。
ご本人が望まないことを押し付けることはしない、ということを大切にしています。

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は外出する事が多いです。
中でも楽しい時間は、コロナ禍を機に好きになった韓国の男性グループのライブチケットが当たるように神社に願掛けに行ったり、情報収集をしたり、韓国語の勉強に充てて推し活をしている時です♪
友人と飲みに行ったり、成人した息子と一緒にお酒を飲むこともありますが、推しの為にコンディションを整えておきたくてお酒の量も控えめになりました☆
ストレス対処については、仕事で気になる事があっても帰宅途中に忘れてきちんと切替られていますので、特にしていません。

未来の自分

１０年後も高槻ともしび苑が地域福祉に根付いているよう、尽力していきたいです。
その為には後輩育成が重要となりますが、幸いにも今年から居宅介護支援事業所に新しい職員が加わり、新体制となりましたので、改めて後輩育成にも力を注ぎたいと思っております。
利用者様が安心して地域で生活できるよう、いつも質の高い安定したサービスを提供し続けられるよう励んでいきたいと思っています。